

公民館のトイレ環境／学校再編計画を確実に進めるために

岩﨑　彰（蒼倫維新）

地域コミュニティ拠点、災害時の避難所となる地域公民館のトイレ環境は設置年や地域規模により格差が大きいことに疑問。洋式化を求め質す。

問　点検・改修、洋式化の計画的取組について。

答　トイレの洋式化は、施設の構造上の問題等あるが、指定避難所としての機能や安全性の向上を図る取組の一環として検討していく。

義務教育学校（仮称）基本構想が本年4月に示されて5カ月。社会環境・経済環境は大きく変化し、今後も変化が見込まれる。策定時の条件が今後も通用するのか質す。

問　さいたま市南区における義務教育学校建設工事3回入札不調、夏の自治体工事休止拡大に伴う工期延長、市債発行の金利上昇、資材価格値上がり等今後想定されるリスクについてどう対応していくか。

答　施工事業者へのサウンディング調査、市場の動向を探る、建設業界の状況を掴む等入札不調などが起きないよう取り組んでいきたい。

「新しい行田」の実現に向けて



田中和美（公明党）

問　市長就任から約3年半が経過する。特筆すべき成果は。

答　子育て支援や移住定住施策の充実により昨年度は602人の社会増となり市民や事業者の連携による観光振興等、国・県の補助金他有利な財源を活用し、市の負担を抑えながら様々な事業を進めてきた。

問　今後、最も重要な課題は。

答　人口の自然減、特に子どもたちや若い世代の減少を深刻な課題と捉え、若者の声を聞き、子育て世代や若年層に選ばれるまちづくりを進める。

問　学校再編まちづくりや交通インフラ整備など、長期にわたる政策についての考えは。

答　これらの成果には時間を要するため、重要な施策として、着実に推進していく。

問　今後「新しい行田」をどのように発展させていくか。

答　基本構想で描く未来に希望を持てるまちを、市民・議会の皆様と行政が力を合わせ築いていきたい。

〔その他の主な質問〕

○支援を必要とする方への具体的提案（オストメイト等）



観光まちづくり 秩父線行田市駅のエレベーター設置を

村田秀夫（日本共産党）

問　観光まちづくりの一環でまちなかウオーカブル推進事業・秩父線行田市駅南口の再整備を実施したが、その狙いと市駅の位置づけは。

答　忍城址や足袋蔵などの歴史的資源へのアクセスを強化し、まちなかを回遊しやすくする事業で、行田市駅はその玄関口としての役割を担う。

問　バリアフリー、市民生活の利便性の向上と共に観光のまちづくりの面からも、市駅へのエレベーター設置は必須ではないか。

答　エレベーター設置は重要な課題であり、駅跨線橋の南北に市で2基、ホームへ降りるためのものを秩父鉄道で1基の合計3基を双方で一体となって整備すべきものである。

問　秩父鉄道との協議はどのような状況なのか。

答　県を通じて鉄道整備要望を出し、平成25年度以来10回の協議を行っているが、設置費用の問題や乗降客数の面で現時点では困難との回答である。引き続き、秩父鉄道へ要望し協議を行っていく。